

教科	国語	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
朝のルー	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		主体的に学習に取り組む態度 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして普読しようとしている。
言葉に出会うために 声を届ける。野原はうた 書き留める 言葉を探る 続けてみよう	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 ◎引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く。 	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして普読しようとしている。
はじまりの風	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ◎場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)(イ)一語などを使って、心情の変化を整理している。	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の進捗をもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。
季節のしおり 春	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。		伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
情報を聞き取り、要点を伝える	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。 ◎目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)(イ)	「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A)(1)(ア)	聞き取った情報を進んで整理し、学習課題に沿って、要点を伝えようとしている。

話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチをする	5 ◎音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ◎自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。 ◎相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(117)	「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A117) →相手の反応を踏まえ、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A117)	話の構成を粘り強く考え、学習の見直しをもってスピーチしようとしている。
アイコンは大きな根?	5 ◎比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(217)	「読むこと」において、文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C117)	文章の中心部分と付加的な部分について積極的に捉え、今までの学習を生かして筆者の説明の工夫を伝え合おうとしている。
ちょっと立ち止まって	3 ◎比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(217)	「読むこと」において、文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C117)	進んで要旨を把握し、学習の見直しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く	2 ◎比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表(1)ア) ◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(217)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B117) 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B117)	集めた材料を粘り強く整理し、学習の見直しをもってわかりやすく説明する文章を書くようとしている。
空の詩 三編	5 ◎事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎根拠を明確にしたが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(117) -比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(117)	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(117) 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B117) 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B117)	詩の構成や展開、表現の効果について積極的に捉え、学習の見直しをもって詩を創作しようとしている。
さまざまな表現技法	2 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(117)	「読むこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B117)	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法について、学習課題に沿って積極的に理解を深めようとしている。
比喩で広がる言葉の世界	4 ◎比喩などの表現の技法を理解し使うことができる。(知・技(1)オ) ◎文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。(思・判・表(1)ア) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表(1)ア) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩などの表現の技法を理解し使っている。(117)	「読むこと」において、文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C117)	進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
言葉のまとまりを考えよう	2 ◎単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。(117)	「読むこと」において、文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C117)	今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前接となる言葉の単位について理解しようとしている。
情報収集の達人になろう	1 ◎原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表(1)ア) ◎文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えを確かなものにすることができる。(思・判・表(1)オ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(217) -自由や事例が必要なことを理解している。 -比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(217)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B117) 「読むこと」において、文章の中心部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(C117)	引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、今までの学習を生かして収集した情報を基に考えたことを書こうとしている。
天人になれなかった弟たちに……	5 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。(知・技(3)オ) ◎場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(317)	「読むこと」において、場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。(C117)	登場人物の心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習したことを生かして朗読しようとしている。
星の花が降るころに	7 ◎比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ◎場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分節、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(217)	「読むこと」において、場面や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、内容を解釈している。(C117)	進んで場面と場面、場面と描写などをつなぎ付けて、内容を解釈し、学習の見直しをもって考えを伝え合おうとしている。

項目を立てて書く 案内文を書く	3 ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ②目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ③書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ④言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	必要な情報を積極的に集めて整理し、学習の最適性をもって案内文を書こうとしている。
方言と共通語	1 ①共通語と方言の果たす役割について理解することができる。(知・技(3)ウ) ②言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ)		今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
聞き上手になろう 質問で話を引き出す	2 ①音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ②必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)エ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア)	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出すようとしている。

「言葉」をもつ鳥、シジウカラ	5 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ②文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表(1)エ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(G(1)エ)	文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見直しをもつて考えたことを文章にまとめようとしている。
根拠を明確にして書く資料を引用して報告する	5 ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ②根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ③根拠を明確にしただけでなく、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよみかたや改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)ウ) ④言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見直しをもってレポートを作成しようとしている。
言葉の関係を考えよう	3 ①単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ②言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。(1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別の前接となる文の組み立てについて理解しようとしている。
読みひたる 大阿蘇	2 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読むことができる。(知・技(3)ア) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア)		進んで言葉の響きやリズムを味わい、語感を磨きながら、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
音読を楽しむ いは歌	2 ①古典にはさまざまな種類の作品があることを知る。(知・技(3)イ) ②音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)イ) ③文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ④言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	「古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。(3)イ) 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)		古文を積極的に、繰り返し音読し、3年間の学習の見直しをもって、古典の世界に親しもうとしている。
蓬莱の玉の枝「竹取物語」から	4 ①音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。(G(1)オ)	進んで古文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている古典の世界を想像しようとしている。
故事成語を使って体験文を書く	4 ①音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ③書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表(1)イ) ④言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。(G(1)イ)	積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして、描かれている体験文を書くようになっている。
「不便」の価値を見つめ直す	4 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。(知・技(2)イ) ③目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)ウ) ④文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ⑤根拠を明確にしただけでなく、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよみかたや改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)ウ) ⑥言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)イ) 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ)	「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(G(1)ウ)	必要な情報に着目して、粘り強く要約し、該当箇所から自分の考えを文章にまとめようとしている。
話題や展開を捉えて話し合う	4 ①意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ②話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。(思・判・表(1)オ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	「話すこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ)	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見直しをもつてグループで話し合いをしようとしている。
少年の日の思い出	7 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ②文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表(1)ウ) ③文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ④根拠を明確にしただけでなく、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよみかたや改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)ウ) ⑤言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(G(1)ウ)	文章の構成や展開、表現の効果について考え、学習の視点から文章を書き換えるようになっている。
単語の性質を見つめよう	3 ①単語の類別について理解することができる。(知・技(1)エ) ②言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の類別について理解している。(1)エ)		今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。
二十歳になった日	5 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ②文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。(思・判・表(1)ウ) ③文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ④根拠を明確にしただけでなく、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよみかたや改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)ウ) ⑤言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(G(1)ウ)	進んで心情を表す表現とその効果について考え、学習の視点から文章のよみかたを捉え、随筆を味わおうとしている。
体験を基に随筆を書く	6 ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ウ) ②書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。(思・判・表(1)イ) ③根拠を明確にしただけでなく、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ④言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の詩的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)	「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ)	粘り強く文章の構成や展開を考えて書くようになっている。
ほくが ここに	4 ①比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解することができる。(知・技(1)オ) ②文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめることができる。(思・判・表(1)オ) ③言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(1)オ)	「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かめるものになっている。(G(1)オ)	積極的に詩を読み味わって考えを深め、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
120				

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見えないだけ	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(1)ア) 		<ul style="list-style-type: none"> ◎主体的に学習に取り組む態度
アイスプラネット	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を調べることができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(1)ア)
自立語	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)オ) 		<ul style="list-style-type: none"> ◎学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
資料を示してプレゼンテーションをする	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。(思・判・表A(1)イ) ◎資料や情報を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(A(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えがわかりやすく伝わるように、根拠を明確にするように、学習の見直しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
枕草子	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表B(1)ア) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎表現の効果を考え描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知られている。(3)イ) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知られている。(3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)ア) ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。

クマゼミ増加の原因を探る	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ◎文章と図表などを結び付け、その関係を読み込んで内容を解釈することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(1)イ) ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえ内容を解釈している。(1)ウ) 	<p>積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、学習の見直しをもって考えたことを話し合おうとしている。</p>
情報を整理して伝えよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表(1)ア) ◎短歌を吟んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(1)ア) 	<p>多様な方法で集めた情報を粘り強く整理し、学習の見直しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>
短歌の創作教室	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎観点を明確にして短歌と比較するなどし、表現の効果について考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎短歌を吟んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)ウ) ◎表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌と比較するなどし、表現の効果について考えている。(1)エ) ・「読むこと」において、短歌を吟んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)ウ) ・「書くこと」において、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(1)ウ) 	<p>表現の効果について進んで考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。</p>
言葉の力	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりしている。(3)エ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)ウ) 	<p>文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>
類義語・対義語・多義語	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)</p>	<p>今までの学習を生かして、積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。</p>	
デジタル市民として生きる	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)</p> <p>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(1)イ) 	<p>複数の情報を進んで整理しながら適切に読み取り、学習課題に沿って目的や状況に応じた情報収集の仕方について考えをまとめようとしている。</p>
ヒューマンイド	6	<ul style="list-style-type: none"> ◎話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。(知・技(1)ア) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>話や文章の構成や展開について理解を深めている。(1)イ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(1)イ) 	<p>登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。</p>
字のない葉書	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎観点を明確にして文章と比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりしている。(3)エ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、観点を明確にして文章と比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(1)エ) 	<p>文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。</p>
手紙や電子メールを書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎根拠の適切性を考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文脈になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)</p> <p>敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、根拠の適切性を考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)ウ) 	<p>自分の考えが伝わる文章になるように積極的に工夫し、学習課題に沿って手紙や電子メールを書くこととしている。</p>
敬語	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ)</p>	<p>今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。</p>	
質問で思いや考えを引き出す	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(1)ア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと-聞くこと」において、論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。(1)エ) 	<p>論理の展開などに注意して粘り強く聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出すインタビューをしようとしている。</p>

同じ訓・同じ音をもつ漢	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ)</p>		<p>積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p>
モアイは語る——地球の未来	6	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎文章の構成や論理の展開について考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎文章を讀んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(12)ア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(2)(1)エ) ・「読むこと」において、文章を讀んで理解し、ことや考えを伝え合おうとしている。 	<p>論理の展開について粘り強く吟味し、学習の見直しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。</p>
意見文を書く	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ◎根拠の適切性を考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(12)ア)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(2)(1)イ) 	<p>粘り強く根拠の適切性を考え、学習の見直しをもって意見文を書こうとしている。</p>

聴きひたる 月夜の浜辺	3	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ	通んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を味わおうとしている。
平家物語	3	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(知・技(3)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(3)イ	通んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
風の約	4	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(知・技(3)イ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(3)イ	◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(1)イ ◎登場人物の言動の意味について通んで考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
仁和寺にある法師 「徒然草」から	4	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎伝えたいことがわかりやすく、伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(3)イ	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ ◎「読むこと」において、文章を比較して漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について通んで考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
漢詩の風景	5	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア ◎現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。(3)イ	◎「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について通んで考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君は「最後の晩餐」を知っているか	5	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ	◎「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について通んで考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
用言の活用	2	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)イ	今までの学習を生かして、積極的に用言の活用について理解しようとしている。
討論で視野を広げる	5	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(1)イ	◎「話すこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(1)イ
六千回のトライの先に	3	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりしている。(3)エ ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ	◎「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ
走れメロス	8	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表(1)イ) ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎抽象的な概念を表す語句の量の増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ ◎登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(1)イ ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ ◎「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)イ	◎「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて粘り強く考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章にまよめようとしている。
付属語	2	◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(1)イ	今までの学習を生かして、積極的に付属語の働きについて理解しようとしている。
心の動きが伝わるように物語を書く	4	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎表現の効果を考えて描き手など、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ◎表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎抽象的な概念を表す語句の量の増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ ◎「書くこと」において、表現の効果を考えて描き手など、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)イ	◎「書くこと」において、表現の効果を考えて描き手など、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(1)イ
話し言葉と書き言葉	1	◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ	今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。
鐘	2	◎抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ) ◎詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書生活を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	◎抽象的な概念を表す語句の量の増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ ◎「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ	◎「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを通んで知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(1)イ
120				

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまよりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界はうつくしいと	2	<p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>一語に用いられている語句や表現に注目して考えたり、理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)</p> <p>一抽象的な概念を表す語句などをを用いて、登場人物の人物像を表している。</p>	<p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えている。(G(1)ア)</p> <p>「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(G(1)イ)</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>進んで語感を磨き、友達や先生や今までの学習を生かして詩の解釈や朗読しようとしている。</p>
握手	5	<p>◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ)</p> <p>◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア)</p> <p>◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>情報の信頼性の確かめ方を理解している。(2)イ)</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p>	<p>物語の展開のしかたを粘り強く捉え、今までの学習を生かして読み深めた感想を交流しようとしている。</p>
「聞く」 意見を聞き、適切さを判断する	2	<p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使用することができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。(思・判・表(1)ア)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>情報の信頼性の確かめ方を理解し使用している。(2)イ)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)</p>	<p>聞き取った内容や意見と根拠の適切さを進んで評価し、今までの学習を生かして発言を考えようとしている。</p>
文法への原1 「走っているのは誰？」 文法1 文法を生かす	2	<p>◎単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(2年知・技(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。(2年(1)オ)</p>		<p>助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして疑問に取り組もうとしている。</p>
読得方のある構成を考えよう スピーチで心を動かす	3	<p>◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使用することができる。(知・技(2)イ)</p> <p>◎自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫することができる。(思・判・表(1)イ)</p> <p>◎場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。(思・判・表(1)ウ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	<p>情報の信頼性の確かめ方を理解し使用している。(2)イ)</p>	<p>「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)</p> <p>「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)</p>	<p>相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見過しをもつて自分の考えを伝えようとしている。</p>

言葉1 相手や場に応じた言葉遣い	1	◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)(1)エ)		相手や場に応じた言葉遣いや表現の選び方について進んで理解し、今までの学習を基として練習問題に取り組みようとしている。
学びて時に之を習ふ ——「論語」から 漢文の訓読	3	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長々親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)(ア) ・長々親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使っている。(3)(イ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(3)(1)エ)	人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を基として考えを伝え合おうとしている。
作られた「物語」を超えて	5	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(2)(1)ア)	進んで文章の構成や論理の展開を捉え、学習課題に沿って考えたことを文章にまよようとしている。
論理の展開を意識して書く グラフを基に小論文を書く	5	5+E13 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けると通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎構文の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎表現のしかたを考えると、自分の考えがわかりやすく伝わる構文になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)(ア) 一貫料から読み取った事実の中から、自分の意見を支える適切な根拠を選んでいる。	「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(2)(1)ア) 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(2)(1)イ)	論理の展開や意見と根拠、それらを結び付ける「理由づけ」などを粘り強く考え、学習課題に沿って読者の力のある小論文を書くようとしている。
俳句の可能性 【書】俳句の創作教室 俳句を味わう	4	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けると通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎構文の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎表現のしかたを考えると、自分の考えがわかりやすく伝わる構文になるように工夫することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けると通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)(1)イ) ・情報信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)(1)イ)	「読むこと」において、俳句の構成や表現のしかたについて評価している。(2)(1)ウ) 「書くこと」において、表現のしかたを考えると、自分の考えがわかりやすく伝わる俳句になるように工夫している。(2)(1)ウ)	進んで表現のしかたなどを評価し、学習課題に沿って鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。
言葉の約系を磨く	3	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)(1)イ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)(1)イ) ・情報信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)(1)イ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えている。(2)(1)イ)	
情報整理のレッスン 情報の信頼性	2	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)(1)イ)		積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習したことを生かして問題に取り組みようとしている。
読書を楽しむ	2	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)(1)オ)		進んで読書の意義と効用について理解し、学習の見直しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
挨拶 ——原爆の写真によせて	2	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表(1)ウ) ◎詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)(1)イ)	理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)(1)イ) 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(2)(1)エ)	詩の構成や表現のしかたを積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。
故郷	5	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)(1)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているもの見方や考え方について理解している。(3)(1)イ) 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(3)(1)エ)	「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(3)(1)エ)
【推論】論理の展開を整える	3	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。(思・判・表(1)エ) ◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表(1)オ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)	「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(2)(1)エ) 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見		目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確認して推論し、読み手からの助言や、情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。

聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る	2	<p>◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。(知・技(1)エ)</p> <p>◎話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを詳細に、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表A(1)エ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)	「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを詳細に、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)	話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。
複数の意見を読んで、考えよう ——正解が一つに決まらない課題と向き合う	3	<p>◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ)</p> <p>◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表O(1)イ)</p>	自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(O(1)イ)	この文章を批判的に読むことに起り張り取り込み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	6	<p>◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア)</p> <p>◎表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p> <p>◎論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)</p> <p>◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)</p>	具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように、粘り強く工夫し、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。

聴きひたる 初恋	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)(イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして作品を読んだり自分の考えを述べたりしようとしている。
和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
君待つと ——万葉・古今・新古今	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎和歌の表現のしかたについて評価することができる。(思・判・表(1)ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使っている。(3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(0)(1)ウ)
夏草 ——「おのほそ遠」から	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使っている。(3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(0)(1)イ)
つながらぬ古典 古典名作選 【書】古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使うことができる。(知・技(3)イ) ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を獲得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 長く親しまれている言葉や古典の一部を引用するなどして使っている。(3)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を獲得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(0)(1)イ)
それでも、言葉を	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎文章を詳しく考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 一抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味や詩意などや確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(0)(1)イ) 「読むこと」において、文章を詳しく考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(0)(1)エ)
話し合い(進行) 話し合いを効果的に進め	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(0)(1)イ)
合意形成に向けて話し合う 課題解決のために会議を開く	4	<ul style="list-style-type: none"> ◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。(知・技(2)ア) ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(0)(1)イ)
本は世界への扉 天、共に在り 極夜行 読書案内 本の世界を広げよ 盗みスーパ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで	1	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(0)(1)エ)
3年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	5	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(知・技(3)オ) ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(0)(1)エ)
初日 漢字に親しもう	2	<ul style="list-style-type: none"> ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎詩を詳しく考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表(1)エ) ◎言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等) 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(0)(1)エ)
国語の力試し	3	<ul style="list-style-type: none"> ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)イ) ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。(知・技(3)ア) ◎文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えることができる。(思・判・表(1)ア) ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えることができる。(思・判・表(1)イ) ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表(1)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開のしかたなどを捉えている。(0)(1)ア) 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えている。(0)(1)イ) 「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(0)(1)イ)